

福岡アジア美術館 令和5年度事業報告

令和6年3月25日

令和5年度福岡市美術館協議会

● 福岡アートネクスト(FaN)事業 (R4～)

暮らしの中で身近にアートに触れる機会を増やし、アーティストの成長支援に取り組む『Fukuoka Art Next』において、当館では主に次の取組みをおこなった。

1 「福岡アジア美術館

ベストコレクション」展を開催

開館25周年スペシャル企画として、世界で活躍するアジア作家10名の代表作24点を紹介。

2 アーティスト・イン・レジデンス 事業の拡充

招聘者数・地域を大幅に増やし、海外3組、日本2組、福岡3組のアーティストを招へい。舞鶴にあるArtist Cafe Fukuokaを拠点に滞在制作をおこなった。



「福岡アジア美術館ベストコレクション」看板



Artist Cafe fukuokaで滞在制作した
第1期のアーティストたち

1 概要

2 事業について

- (1) 展示活動（特別展、コレクション展）
- (2) 収集活動（購入、寄贈、寄託）
- (3) 交流事業
- (4) 教育普及活動
- (5) 貸館利用
- (6) 広報・集客に関すること 等

3 施設利用状況

1 概要

■開館 1999年3月6日開館

■規模 鉄骨鉄筋コンクリート造 地下4階地上13階のうち1階及び7階、8階
建物面積151,595.91㎡のうち区分所有 専有面積9,101.05㎡

■展示室

7階 アジアギャラリー、企画ギャラリー

8階 交流ギャラリー

■その他施設

7階 アートカフェ、ミュージアムショップ、キッズコーナー

8階 あじびホール、交流スタジオ、図書閲覧室

■ギャラリー観覧時間 午前9時30分～午後6時（金曜・土曜は午後8時まで）

※ギャラリー入室は閉室30分前まで

■開館時間 午前9時30分～午後7時30分 水曜日休館

（金曜・土曜は午後8時まで）

■組織（24名）

※令和5年4月

・総館長、館長（運営課・学芸課総括）

運営課長	運営係（8名） 係長1、事務2、会計年度任用職員5
学芸課長	収集展示係（7名） 係長1、学芸員2、再任用1、 会計年度任用職員3
	交流・教育係（5名） 係長1、学芸員1、会計年度任用職員3

■令和5年度予算

内容	予算額	備考
【歳出】	340,879千円	施設管理、交流事業、展覧会経費、資料収集費 など
【歳入】	46,110千円	施設使用料、常設展観覧料、ミュージアム寄付 など

- (1) 展示活動（特別展、コレクション展）**
- (2) 収集活動（購入、寄贈、寄託）**
- (3) 交流事業**
- (4) 貸館利用**
- (5) 広報・集客に関すること 等**

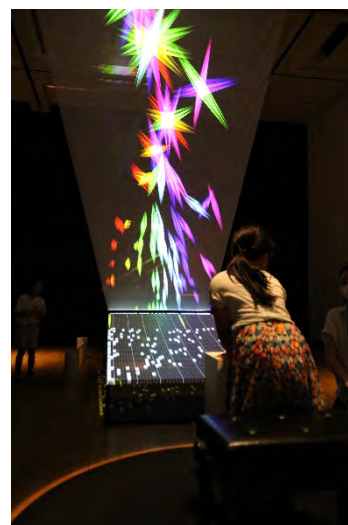
(1) 展示活動

特別企画展

おいでよ！絵本ミュージアム2023 Final

会期	令和5年7月17日～8月27日（42日間） ※ 会期中無休
主催	福岡アジア美術館、西日本新聞社、 TNCテレビ西日本、 西日本イベントサービス
入場者数	41,770人
内容	平成19年以来毎年開催してきた同展の集大成として実施。「こどもの力」をテーマに、こどもの持つ限りない力と可能性を教えてくれる100冊の絵本との出会いや、先端技術を使ったコミュニケーションを楽しめる企画とした。また当館所蔵品とのコラボ展示も実施。
会期中の主なイベント	・ いわいとしお 「いっしょにつくろう！100かいだてのいえ」 ・ 朝倉民枝 「ピッケのつくるえほんワークショップ」 ・ ミヤザキケンスケ「絵本《マリウポリのひまわり》をつくろう」

展示風景



(1) 展示活動

特別企画展

世界水泳選手権2023福岡大会記念展

水のアジア

会期	令和5年7月1日～9月3日（56日間）
主催	福岡アジア美術館、西日本新聞社
入場者数	33,129人
内容	<p>「世界水泳選手権2023 福岡大会」を記念した展覧会。海其自然環境をテーマにした作品や、川の脅威に向き合いながらも力強く生きる人々の姿を描いた作品、水、川、海などのイメージに作家自身のルーツや内面性を表現した作品など、大型インスタレーションから映像作品まで、8名のアーティストによる14作品を紹介。</p> <p>世界水泳の開会式が行われるボートレース福岡には、風の吹き抜ける魚のベンチを置き、人びとに憩いの場を提供した。</p>
会期中の主なイベント	<ul style="list-style-type: none">・福岡市文化振興財団による連携企画、比佐水音・尾形蝶嘉「筑前琵琶と水の音」（トークと演奏）・山内光江「寄せては返すシグナルはノイズの海を漂い還る」（上映会とトーク）・金サジ「身体に流れ抜け出る物語」（トーク）・パム（Party At The Museum）実施（9/1～9/3）・学芸員ギャラリートークなど



(株) 明治産業との共同イベントチラシ

(1) 展示活動

特別企画展

世界水泳選手権2023福岡大会記念展 水のアジア

展示風景



アジア美術館会場



アジア美術館会場



ボートレース福岡会場

(1) 展示活動

特別企画展

日中平和友好条約45周年 世界遺産 大シルクロード展

会期	令和6年1月2日～3月24日（72日間）
主催	福岡アジア美術館、西日本新聞社、読売新聞社、FBS福岡放送、中国文物交流中心
入場者数	16,455人（1月末現在）※26日間
内容	<p>古代から交易の路として栄え、各地で多様な民族が興亡し、多彩な文化が花開いたシルクロードを、中国の27の博物館等から借用した200点の文物で総覧した。</p> <p>2014年に世界遺産に認定後、中国国外で行われる初の大規模展で、日本の国宝に相当する「一級文物」45点を含み、初公開のものが多数。重要な交易品だった金銀の品々やガラス製品、仏教伝来のルートでもあったことを示す経典や仏像などを展示。</p>
会期中の主なイベント	<p>福岡市文化振興財団による連携企画</p> <ul style="list-style-type: none">・カテリーナ古楽器研究所「古楽器で辿るシルクロード」・九州交響楽団演奏会など



会場風景

(1) 展示活動

コレクション展

福岡アジア美術館開館25周年スペシャル企画

福岡アジア美術館ベストコレクション

会期	令和5年9月14日～令和6年4月9日（175日間）
主催	福岡アジア美術館
入場者数	24,255人（1月末現在）※115日間
内容	<p>令和6年3月6日に開館25周年を迎えることを記念し、令和5年度と令和6年度を開館記念イヤーと位置づけ、当館の代表的な現代美術作品を紹介していく展覧会の第一弾。</p> <p>今回は、アジアから世界に羽ばたき、アジア現代美術の地位の向上に貢献したアーティスト10名による24点を紹介。</p>
会期中の主なイベント	<p>福岡市文化振興財団による連携企画</p> <ul style="list-style-type: none">・「黄昏に奏でるアート」・「コンドルズが躍動する！」・「言葉を使わないコメディパフォーマンス」・「コンドルズと創る！踊る！魅せる！」など

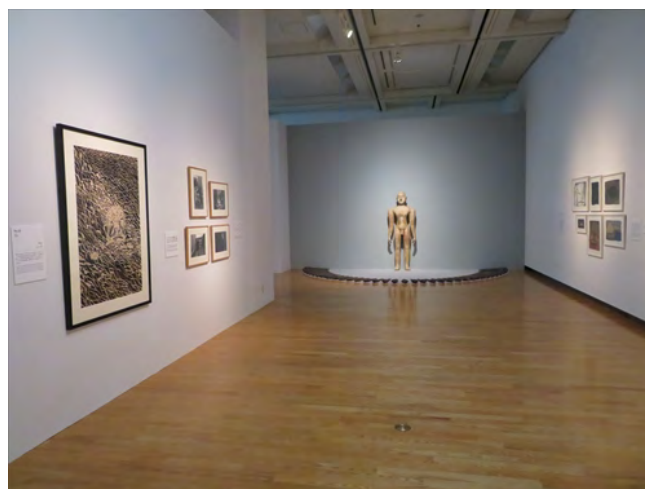
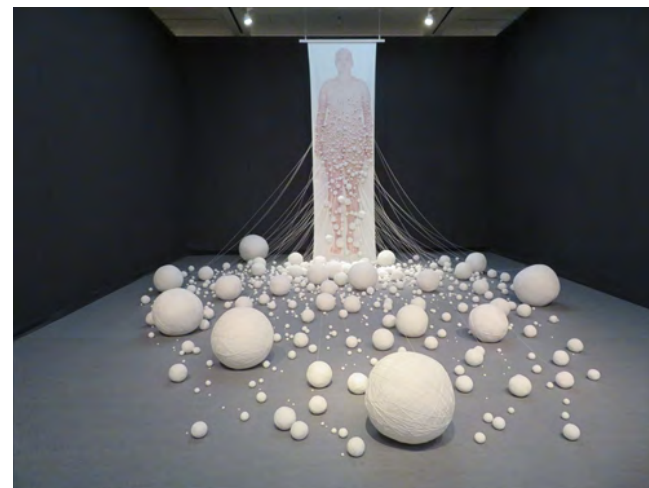
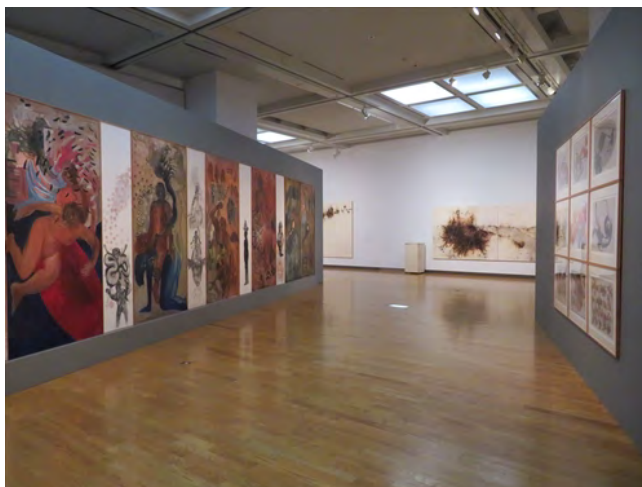


(1) 展示活動

コレクション展

福岡アジア美術館開館25周年スペシャル企画

福岡アジア美術館ベストコレクション 展示風景



(1) 展示活動

コレクション展

A室



アジアの近現代美術

3/23 ~ 6/20



私から問う
—アジアの現代写真II

3/23 ~ 6/20



境界を行き交う—
アジアのインスタレーションII

3/23 ~ 6/20

B室



バリ島の美術

3/23 ~ 6/20



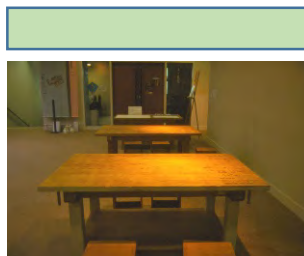
アートと環境

9/14 ~ 12/25



切紙の魔術師—呂勝中

1/2 ~ 4/11



記憶のなかの歴史—ス
ティー・クナウィチャ
ヤノン

3/23 ~ 6/20

あじびレジデンスの部屋



「昨日、私たちがみた
夢」はどこへ?—コビー
ル・アフメッド・マス
ム・チステイ

9/14 ~ 12/25



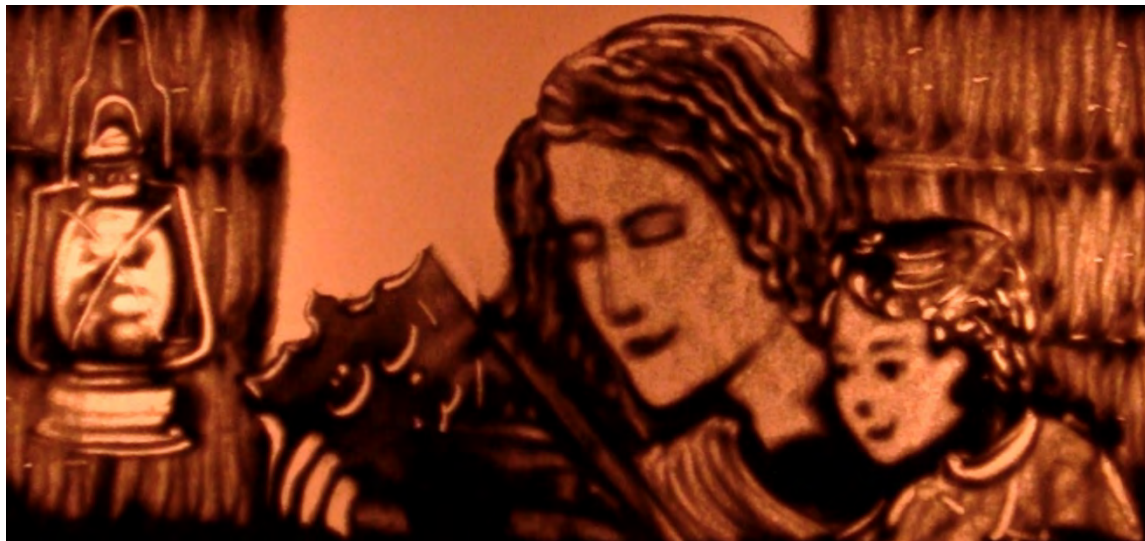
天空へはばたく凧—スー
ン・ヴァナラ

1/2 ~ 4/11

(2) 収集活動（購入、寄贈、寄託）

購入

映像 2 点 写真 3 点



《モルディブの物語》

アフ [モルディブ]

10分16秒、ビデオ、2012年

《双子》

金サジ [日本/韓国]

100×80cm、インクジェットプリント、
2016年



(2) 収集活動（購入、寄贈、寄託）

寄贈

507点（立体1点、絵画5点、版画499点、ビデオ2点）



《新高山》

楊三郎 [台湾]

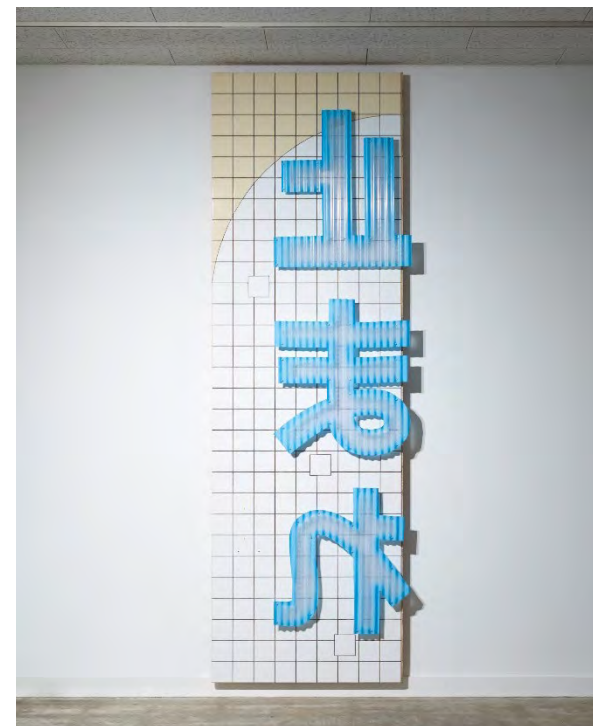
37.8×45.3 cm、油彩・板、1950年代



《魔女ランダ》

イ・ワヤン・ウィラ [インドネシア]

72.8×100 cm、水彩・画布、
2014年



《止まれ》

チェン・ウェイチェン [台湾]

290×94×5cm、2023年

(3) 交流事業

アーティスト・イン・レジデンス事業

美術作家招聘事業（第1期）

期間	令和5年7月4日～9月27日（3カ月間）
作家	ジン・チェ&トーマス・シャイン（オランダ） 清水美帆（東京）、山本聖子（福岡）
内容	「FaN Week」のメイン展示として、ACFのグランドスタジオ（旧体育館）にチェ&シャインの大規模インスタレーションを展示。130人以上の市民サポーターが共同制作に加わった。清水美帆はオリジナルの凧を制作し、山本聖子は八幡の製鉄所を撮影し、映像インスタレーションに仕上げた。
参加者数	展覧会：16,148人 トーク、ワークショップ：668人



福岡アジア美術館 Fukuoka Asian Art Museum
第19回 アーティスト・イン・レジデンスの成果展
WINDS OF ARTIST IN RESIDENCE 2023

山本聖子
Yamamoto Seiko
清水美帆
Shimizu Miho
ジン・チェ&トーマス・シャイン
[チェ&シャイン・アーキテクツ]
Jin Choi and Thomas Shine
of Choi Shine Architects

Dialogue
— Deeper and Further
ダイアローグ
— 交信する身体

2023.9.16^{SAT} - 10.22^{SUN}

11月5日まで、全休日の休館時間は会場によって異なります
山本聖子 / 清水美帆
Artist Cafe Fukuoka スタジオ・ギャラリー 10:00-17:00
9/16(土) - 9/24(日) 11:00-17:00 9/29(火)に休館
福岡アジア美術館 7階 アートカフェ / ロビー 10:00-17:00
9/16(土) - 10/22(日) 9:30-19:30(土曜・日曜/20:00まで) ※本館休館日
ジン・チェ&トーマス・シャイン [チェ&シャイン・アーキテクツ]
Artist Cafe Fukuoka 外有席 10:00-17:00
9/16(土) - 10/22(日) 9:30-19:30(土曜・日曜/20:00まで) ※本館休館日
09:10-18:00 9/22-24, 9/29-10/1, 10/6-9, 10/13-15, 10/20-22
Exhibition Hours * Open hours and closing dates vary by each venue.
Yamamoto Seiko / Shimizu Miho
Studio and Gallery inside the Artist Cafe Fukuoka 10:00-17:00
September 16 - 24, 10:00-17:00 (Closed on Fridays, Sep 19)
Art Cafe / Museum Lobby - Fukuoka Asian Art Museum (7F)
September 16 - October 22 9:30-19:30 (Saturdays and Sundays until 20:00)
* Closed on Wednesdays
Jin Choi and Thomas Shine of Choi Shine Architects
Gymnasium Hall of the Art Cafe Fukuoka 2-5 (1st, 2nd, 3rd, 4th, 5th)
Every Friday, Saturday, Sunday and the Public Holiday between
September 16 - October 22 10:00-17:00
09:10-18:00, Sep 22-24, Sep 29, Oct 1, Oct 6-9, Oct 13-15, and Oct 20-22
主催：福岡アジア美術館 協賛：日本美術院
Co-organizer: Fukuoka Asian Art Museum
Co-sponsor: Nihon Gakugei Shinko Kai Co., Ltd. 入場無料
Admission Free

福岡アジア美術館 Fukuoka Asian Art Museum

(3) 交流事業

アーティスト・イン・レジデンス事業

美術作家招聘事業（第1期）



百道浜での凧揚げ大会（清水美帆）

製鉄所を撮影した映像作品（山本聖子）

約130人が参加（チェ&シャイン）

(3) 交流事業

アーティスト・イン・レジデンス事業

美術作家招聘事業（第2期）

期間	令和5年10月3日～12月20日（3カ月間）
作家	チェン・ウェイチェン（台湾） 古賀義浩（福岡）
内容	古賀義浩は、市民から夢の話を集めるワークショップを開催したほか、家族の記憶にもとづいた立体作品を制作した。チェン・ウェイチェンは、福岡の街から見える人々の存在や風景を作品化したほか、「博多灯明ウォッチング」のために地上絵を制作した。
参加者数	展覧会、灯明ウォッチング：5,161人 トーク、ワークショップ：221人



(3) 交流事業

アーティスト・イン・レジデンス事業

美術作家招聘事業（第2期）



成果展「風景断想」

制作風景（チェン・ウェイチェン）

市民との共同制作（古賀義浩）

(3) 交流事業

アーティスト・イン・レジデンス事業

美術作家招聘事業（第3期）

期間	令和6年1月10日～3月9日（2カ月間）
作家	メイタオ・チュ（イギリス） 川辺ナホ（ドイツ） 花田智浩（福岡）
内容	メイタオ・チュと花田智浩のふたりのアーティストは、どちらも都市の建物に大きな関心を寄せ、立体作品と写真作品をそれぞれ滞在制作したほか、子ども向けのワークショップも企画。一方、川辺ナホは、「炭」をテーマに姪浜炭鉱や九州大学を調査し、インスタレーション作品を完成させた。
参加者数	展覧会：2,198人 トーク、ワークショップ：351人



福岡アジア美術館
第21回 アーティスト・イン・レジデンスの成果展
Fukuoka Asian Art Museum
WINDS OF ARTIST IN RESIDENCE 2023
3rd Period

Urban Phenomenology

Just what is it that makes our future so uncertain, so appealing?

都市の現象学

私たちが未来を
いいたい何が
これほど不確かで、
魅力あるものに
しているのか？

2024
2/23 金・祝 FRI
3/3 日 SUN
観覧無料 | Admission Free

会場・開催時間 ※休曜日/開催時間は会場によって異なります
Artist Cafe Fukuoka ギャラリー・グランドスタジオ 11:00-17:00 ※2/26 (祝) 休館
福岡アジア美術館8階 交流ギャラリー 9:30-18:00 (最終:土曜は20:00まで) ※2/28 (水) 休館
Venues and Open Hours *Open hours and closing dates vary by each venue.
Gallery and Grand Studio, Artist Cafe Fukuoka 9:30-18:00 *Closed on Monday, 28th February.
Exchange Gallery (8F), Fukuoka Asian Art Museum 9:30-18:00 (Open until 20:00 on Fridays and Saturday)
*Closed on Wednesday, 28th February.
主催:福岡アジア美術館 共催:百日本新聞社
Organizer: Fukuoka Asian Art Museum Co-organizer: The Nishinippon Shimbun Co., Ltd.

福岡アジア美術館 Fukuoka Asian Art Museum

FaN Fukuoka Art Net

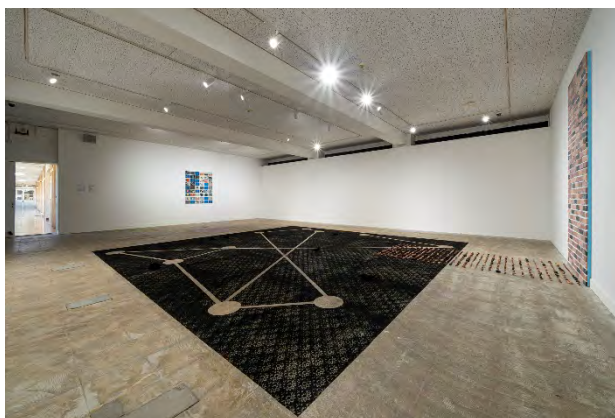
(3) 交流事業

アーティスト・イン・レジデンス事業

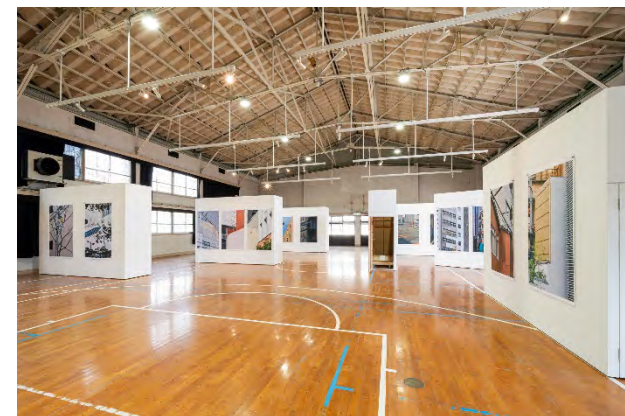
美術作家招聘事業 (第3期)



(メイタオ・チュ)



(川辺ナホ)



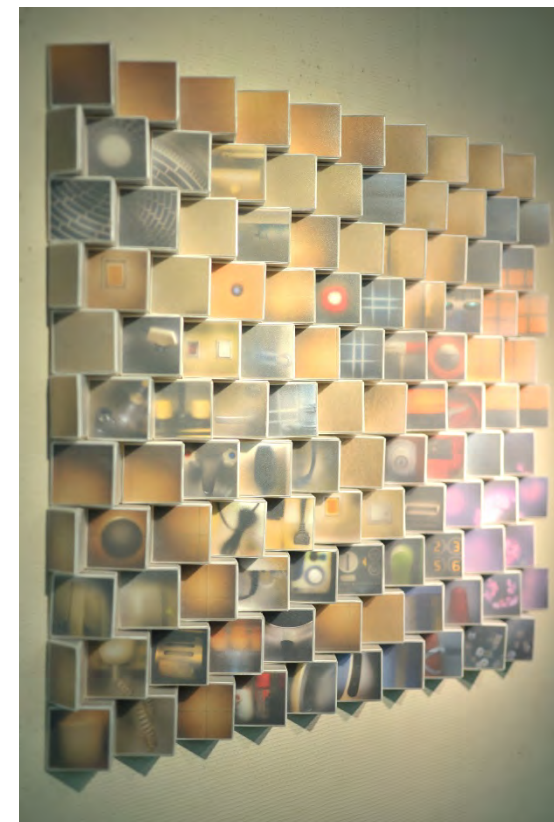
(花田智浩)

(3) 交流事業

アーティスト・イン・レジデンス事業

受入支援事業

期間	令和5年5月9日～6月9日（1カ月間）
作家	サブリ・イドゥルス（マレーシア） メリアンタ・ムリアワン（インドネシア）
内容	コロナによって中断していたシンガポール「大華銀行絵画展」受賞者を受け入れ、市民との交流事業等を実施。



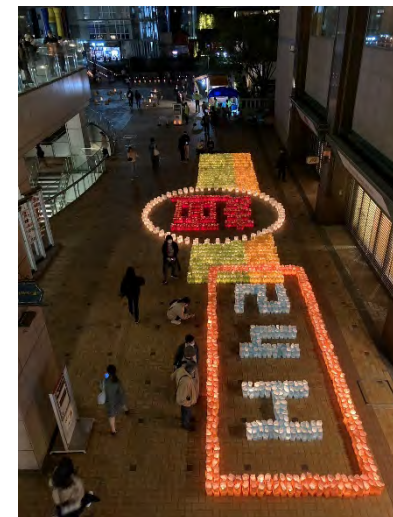
制作風景（サブリ・イドゥルス、メリアンタ・ムリアワン）

(3) 交流事業

地域交流事業

博多リバレイン灯明（「博多灯明ウォッチング」同時開催）

開催	令和5年10月21日
内容	博多リバレインが毎秋開催している「博多リバレイン灯明」において、招聘事業2期に参加しているチェン・ウェイチェン（台湾）が地上絵の制作をおこなった。



アーカイブ展示

あじびレジデンスの部屋（アジアギャラリーB）

会期	令和5年4月7日～令和6年3月21日（245日間）
内容	第1期：記憶の中の歴史 スティー・クナウィチャヤノン（タイ） 第2期：きのう見た夢はどこへ？ チスティー（バングラデシュ） 第3期：天空へはばたく凧 スーン・ヴァナラ（カンボジア）



第2期の展示風景

(4) 教育普及活動

学校との連携

スクールプログラム

内容	アジアギャラリーの鑑賞、アジアのアーティストとのワークショップ、アーティストや学芸員によるトーク、アートカードによる授業など		
実施件数	28件	1,565人	※1月末現在



ボランティア事業

内容	①案内・解説：作品解説や施設案内、②図書資料：配架整理および蔵書点検、③アーカイブ：新聞・雑誌掲載記事のスクラップと整理、④広報：広報誌や企画展ポスターなどの発送、⑤読み聞かせ：絵本や紙芝居の読み聞かせ、⑥活動支援：研修等の企画、⑦交流：招聘アーティストのサポート		
登録人数	147人	※1月末現在	



絵本の読み聞かせボランティア

(4) 教育普及活動

子どもとのワークショップ

みんなで装飾してオリジナル・リキシャを作ろう！

実施日	令和5年5月14日・21日、7月29日（2時間×4回）
参加人数	一般参加者 72人
内容	当館所蔵品「リキシャ」を子どもたちと装飾する定番ワークショップを開発。 Bangladesh のことを紹介した後、様々な方法でリキシャを装飾してもらった。



Color Diary — 「ある一日」

実施日	令和5年7月13日（2時間20分）
参加人数	精華学園高等学校福岡東校 7人
内容	「日記を言葉ではなく、色で描いたらどうなる？」という疑問からできた2023年招へいアーティスト山本聖子（福岡）によるワークショップ。



(5) 貸館利用

貸館利用

- 市民等の創作活動の発表の場としてギャラリー、あじびホール、アートカフェを貸出（ギャラリーは年2回募集、原則1週間単位利用）

- 令和5年度利用状況（1月末）

- (1) 協力企画展

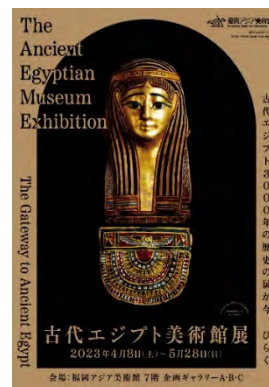
- ① 古代エジプト美術館展（44日間）
（R5.4.8～5.28） 19,880人

- ② ゆるかわふうの世界（32日間）
（R5.6.3～7.9） 7,731人

- ③ 水俣・福岡展（32日間）
（R5.10.7～11.14） 9,230人

- (2) その他貸館

企画ギャラリー（248日）	15件	64,829人
交流ギャラリー（254日）	42件	25,901人
あじびホール	102件	7,281人



広報活動

- ・ 広報誌「あじびニュース」発行部数：
Vol.90 80,000部(4.1 発行)、Vol.91 9,000部(8.10 発行)、Vol.92 9,000部(12.1発行)
全国の美術館をはじめ、近隣のホテルや飲食店などに毎号3,000~6,000部を配送。
- ・ 特別展広報として、ポスター600部およびチラシ27,500部を全国各地の美術館や公共施設、店舗、大学等 約600件に送付
- ・ SNSを活用し、館の運営全般や展示にまつわる事柄を紹介
Facebook : 運営上の告知及び、展覧会にまつわるブログ記事等発信のおしらせ
Instagram : 各展覧会の様子やレジデンス制作の状況について発信
Twitter : 展覧会案内、イベント案内、所蔵品紹介など

(6) 広報・集客に関すること 等

集客事業・連携・協力事業等 ※再掲あり

○福岡ミュージアムウィーク2023 (5/13～5/21)

○福岡市文化芸術振興財団との連携

- ・九響@アートカフェ コンサート (2/12)
- ・水のアジア展との関連企画(7/22、8/11)
- ・こどもを対象としたワークショップ・コンサート (11/26、12/9)

馬頭琴、コンドルズパフォーマンス 他

○よかトピア財団との連携

- ・外国人学生歓迎交流会(11/23)

○アートフェアアジア(AFAF)との連携

- ・オープニング歓迎レセプションの開催(9/30)



九響@アートカフェ
～弦楽四重奏～



水のアジア展との関連企画
～筑前琵琶と水の音 演奏&トーク～



コンドルズパフォーマンス
～FaN Funパフォーマンス～

(6) 広報・集客に関すること 等

集客事業・連携・協力事業等

○ベストコレクション関連イベント

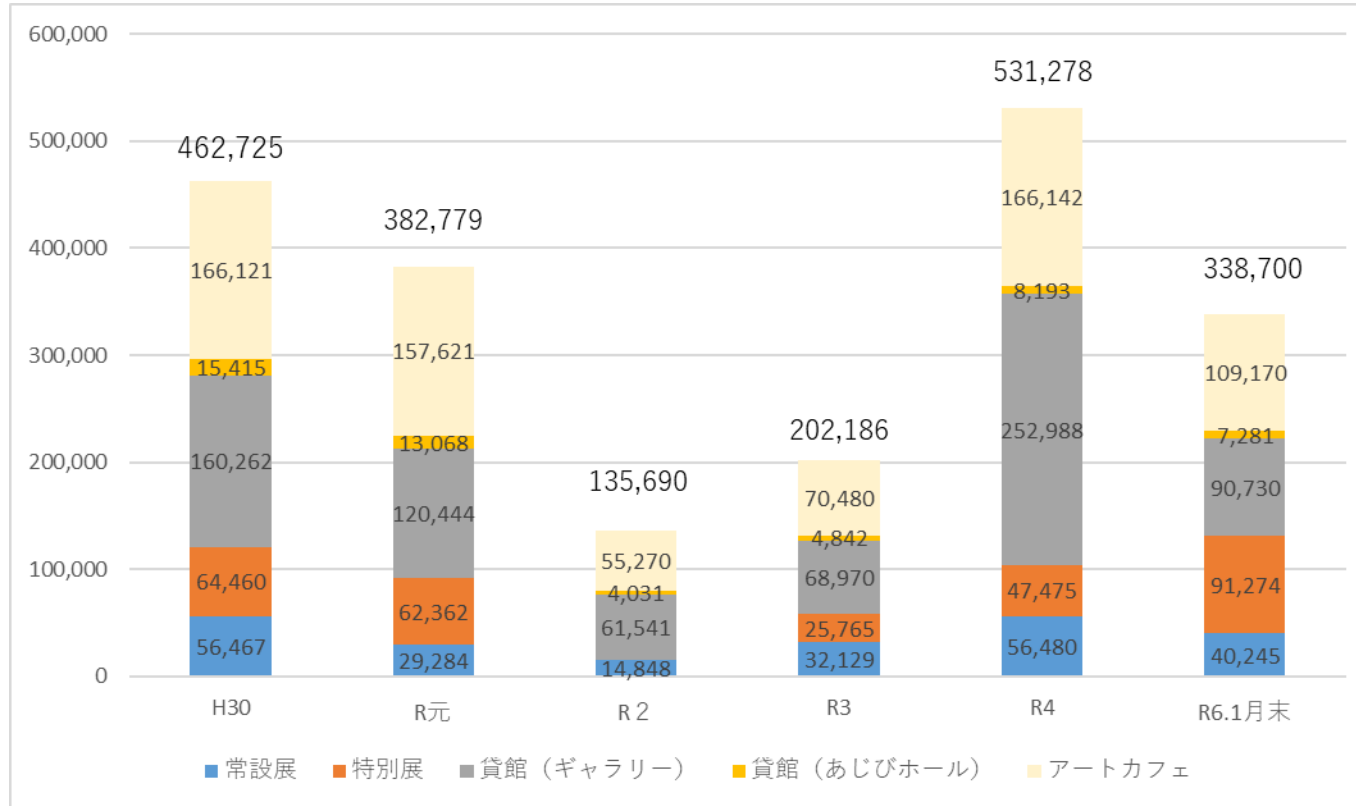
- ① ギャラリーツアー（11/17、11/24）
- ② 【ワークショップ】くるみボタンで秋色ブローチをつくろう！（11/26）
- ③ あじび 冬のこどもコンサート（12/9）
- ④ わたすクラブツアー（12/16）
- ⑤ アジアンクリスマスマーケット（12/21～12/24）
- ⑥ 観光ボランティアや、ホテル業界などの
会議冒頭で展覧会のPRを実施（7回程度）



3 施設利用状況

施設利用者数の推移

(単位：人)



●コロナによる 臨時休館：

令和元年度：令和2年2月27日～3月20日、令和2年度：令和2年4月4日～5月18日、

令和三年度：令和3年5月12日～6月20日及び8月9日～9月13日（ただし、令和三年度は、特別企画展等を除く）

福岡アジア美術館 令和6年度事業計画

令和6年3月25日
令和5年度福岡市美術館協議会

1 観覧者目標

2 令和6年度予算（案）

3 主な事業、取組みについて

展示事業：特別展

コレクション展

交流事業：アーティスト・イン・レジデンス事業

教育普及活動

4 魅力向上の検討

1 観覧者目標

観覧者目標：28.3万人

(参考：実績)

令和5年度：222,249人（1月末）、令和4年度：356,943人、令和3年度：126,864人

2 令和6年度予算（案）

内容	予算額	備考
【歳出】	517,990千円	施設管理、交流事業、展覧会経費、資料収集費など
【歳入】	108,919千円	施設使用料、常設展観覧料、ふくおか応援寄付など

◇主な取り組み

・特別企画展の実施

「おいでよ！夏の美術館vol.1 エルマーのぼうけん展」を1件開催予定

・アーティスト・イン・レジデンス事業の拡充

国内外から9組程度を招へいし、Artist Cafe Fukuokaを拠点に滞在制作や交流活動を実施

・魅力向上

開館25周年記念コレクション展の開催や展示機能の強化に向けて、多くの人が集まり、気軽に立ち寄れる場所での施設拡充の調査検討を実施

3 主な事業、取組みについて

特別企画展

おいでよ！夏の美術館vol.1 エルマーのぼうけん展

会期	令和6年7月16日～8月25日（41日間） 会期中無休
主催	福岡アジア美術館、西日本新聞社、 TNCテレビ西日本、西日本イベントサービス
内容	「絵本ミュージアム」の後継事業として、今夏より親子で楽しむミュージアム「おいでよ！夏の美術館」をスタート。 第1回目は、児童書の不朽の名作として知られる『エルマーのぼうけん』を入口に、子どもたちを冒険の旅に誘う内容。驚きに満ちた会場造りと、『エルマーのぼうけん』の原画、冒険にみちた絵本や児童書を展示。
会期中の 主な イベント	ワークショップ等



3 主な事業、取組みについて

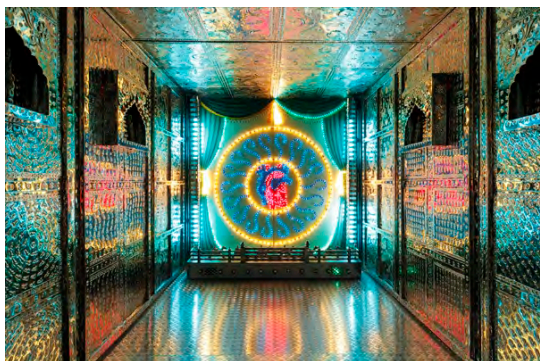
コレクション展 (アジア・ギャラリーA室)

アジアン・ポップ

会期	令和6年4月20日～9月3日 (124日間)
内容	国際的に活躍するアジアのアーティストが生み出したポップアートの作品を、創作の源泉とした映画や商業ポスターなどの大衆美術と組み合わせで紹介。

ベストコレクションII (仮称)

会期	令和6年9月14日～令和7年4月8日 (172日間)
内容	世界で活躍するスターアーティストの傑作を一堂に会して紹介する「ベストコレクション」展の2回目。アジア現代美術の存在を世界に知らしめた鬼才ホワン・ヨンピンの作品を中心に紹介。



3 主な事業、取組みについて

コレクション展 (アジア・ギャラリーB室)



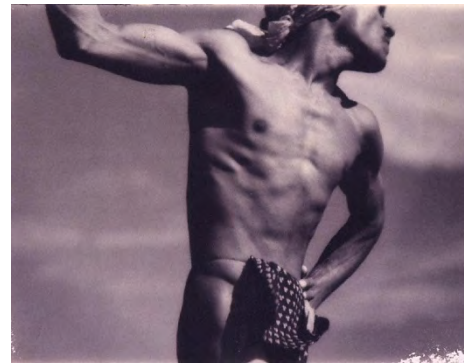
新収蔵品展

4/20 ~ 6/25



真夏のおじびアドベンチャー
アジア美術を冒険しよう

6/27 ~ 9/3



アジアン・フォト・ヒストリー

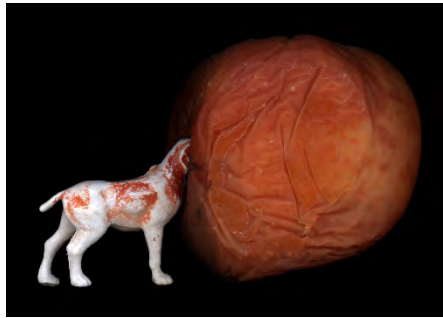
9/14 ~ 12/17



韓国美術のリアリティ

9/19 ~ 4/8

おじびレジデンスの部屋



路上のスクヤングラフィー
アンキ・プルバンドノ

4/20 ~ 9/3



ミャンマーの美術作家たちはいま
アウンコー

9/14 ~ 12/17



都市を映す

12/19 ~ 4/8

3 主な事業、取組みについて

アーティスト・イン・レジデンス事業

(アートのまちづくり推進事業)

招へい者	海外アーティスト 5組 国内アーティスト 2組 福岡アーティスト 2組
期間	第1期 (7～10月・3カ月) 第2期 (9～12月・3カ月) ※福岡作家は長期レジデンス (7～12月・6カ月)
制作場所	Artist Cafe Fukuoka (旧舞鶴中学校校舎) ほか
内容	約200組の応募の中から、今後の活躍が期待される国内外のアーティスト9組程度を招へい。福岡での創作活動や作品発表等のさまざまな機会を提供することで、アーティストが刺激し合って成長し、福岡から世界に羽ばたくことを支援する。



Artist Cafe Fukuoka



過去の展示風景

教育普及活動

(1) 学校との連携

- ・ スクールプログラム（対話型鑑賞、アートカード等）
- ・ 職場体験、博物館実習など

(2) ワークショップの開発

- ・ アジア作家とのオンライン・ワークショップ
- ・ 所蔵品を活用したワークショップ

(3) アジア美術学習サイトを段階的に拡充

- ・ わかりやすいアジア美術の紹介
- ・ アジアと日本の美術交流史



○ 美術作品の収集強化

市民がアートをより深く鑑賞する機会の創出に向け、現代の多様な作品を収集する。

○ 施設拡充の調査検討

コレクションの展示機能の強化に向け、警固公園の地下を有力候補として、施設拡充の調査検討を実施する。

○ バーチャルミュージアムの構築

アジア美術館の魅力を伝えるため、コレクション展示をインターネット上で体験できる仕組みを構築する。